

# Hover. The Wall Mount Installation Manual

この度は Hover. The Wall Mount Ski/Snowboard をご購入いただきまして大変ありがとうございました。取付けにあたり、このマニュアルに沿って作業を進めてください。

## 1. 工具

Hover. The Wall Mount Ski/Snowboard を取り付けるにあたり以下の工具を必要とします。各工具は必須工具と補助工具（あれば便利な工具）があります。



- ① メジャー：必須工具、一般的なもので構いません。
- ② ポンチ：補助工具、付属のピアスピスの先端で代用することもできます。
- ③ フィリップス（プラス）ドライバー #2：必須工具、必ずプラスの2番をご用意ください。
- ④ ナイロンハンマー：補助工具、ドライバーのグリップエンドで代用することもできます。
- ⑤ 電動ドライバードリル：必須工具 / 補助工具、取付ける壁の材質によって必要性が異なります。（インパクトドリルは低速で回してください）
- ⑥  $\phi 3\text{mm}$  木工用ドリル：補助工具、厚い木製の壁に取付ける際があると便利です。
- ⑦  $\phi 6\text{mm}$  鉄工用ドリル：必須工具、石膏ボード、鉄に穴を開ける場合、その他、コンクリート（ブロック）壁、タイル壁などに取付ける場合はそれぞれ適した用途のドリルを用意してください。
- ⑧ 定規：必須工具、一般的なもので構いません。

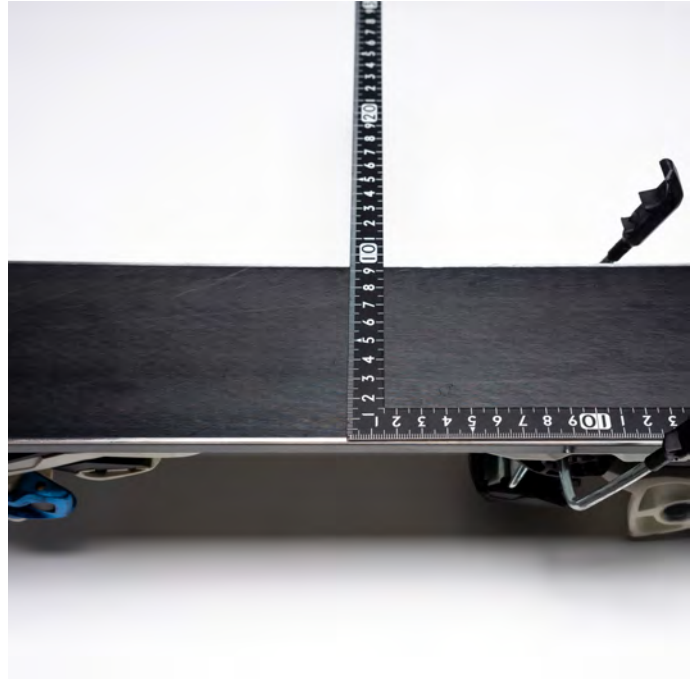
\*これらに加えて 20mm 以上の幅のマスキングテープが必要になります。

## 2. The Wall Mount の取付位置の確認と調整

スキー / スノーボード、または壁の材質によって取付け方が違います。それぞれの項目を読み進めてください。

### 2-1. スキーセンター幅の計測

（スキーを取付ける場合、スノーボードは 2-5 へ）



まず、取付けるスキー板のセンター幅（最も細い箇所）をスキー板を裏返した状態で確認します。

\*やがて別の板を掛ける場合はこのステップを行わなくても問題はありませんが、より確実にマウントするには最良の手順となります。

### 2-2. The Wall Mount Ski の幅調整



計測した数値を参考に、The Wall Mount Ski の開き幅をタブのネジをドライバーで回して大まかに調整します。ある程度は The Wall Mount Ski のレールに刻印された数値が目安になります。できる限り左右均等の幅に開くことが好ましいです。

### 2-3. スキー板へのテストフィッティング



大まかに幅を調整した The Wall Mount Ski をスキー板のセンター付近からはめ込みノーズ（トップ）側へスライドします。このとき、センター付近では固定されずに、ビンディングのトゥー付近で The Wall Mount Ski が固定されることを確認します。

### 2-4. The Wall Mount Ski の縦位置の計測



スキー板のテールエッジからメジャーをあて、The Wall Mount Ski のレールの中心の穴までの長さを計測します。取付ける高さや壁面の状況によって変わりますが、この数値に少なくともプラス 25cm した長さが床からの高さになります。（床から浮かせる為）

写真では 89cm ぐらいがテールエッジから The Wall Mount Ski のレールの中心の穴ですので、この場合は  $89\text{cm} + 25\text{cm} = 114\text{cm}$  が The Wall Mount Ski を取付けるべき床からの高さとなります。

### 2-5. The Wall Mount Snowboard でスノーボードを取付ける場合（スキーは 3 へ）

スノーボードを取付ける場合は縦位置の計測のみ必要です。スノーボードのテールエッジからメジャーをあて、板の最も幅が細い箇所（ウエスト幅）までの長さを計測します。取付ける高さや壁面の状況によって変わりますが、この数値に少なくともプラス 30cm した長さが床からの高さになります。（床から浮かせる為）

## 3. 壁の取付位置出し

以下、説明の基本は石膏ボードの壁へ取付ける場合になりますが、木壁、コンクリート壁、その他の壁の素材の場合も必ずお読みください。

### 3-1. 取付位置のマーキング



最初に取付けたい壁面のセンター位置に縦にマスキングテープを貼り、マスキングテープの上に2点マーキングし、縦のセンターラインを引きます。

壁の角や、サッシの枠からメジャーを当てるとセンターラインを正確に、限りなく垂直に引くことができます。

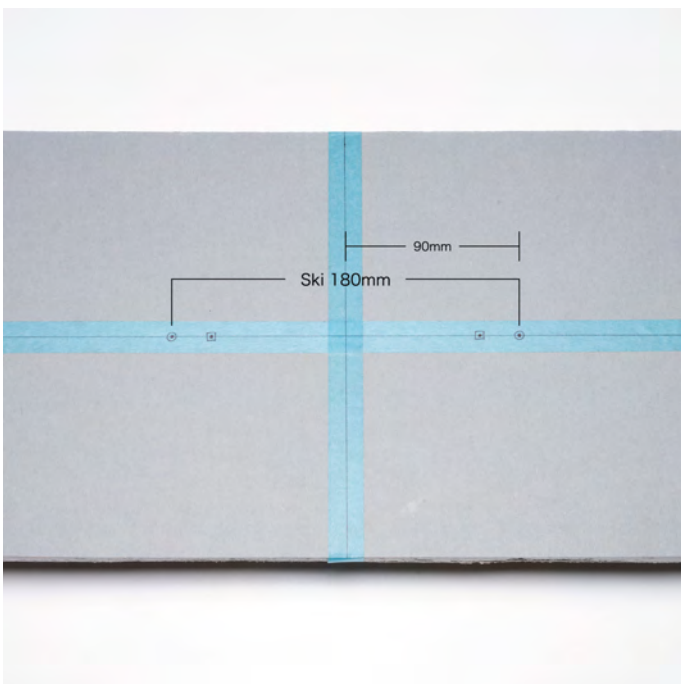
このとき、マジックでマスキングテープの裏のクロス（壁紙）に裏写りしないか、またはボールペンの筆圧によってクロスが凹まないか、目立たない箇所で確認すると良いでしょう。

次に横方向にマスキングテープを貼ります。

マスキングテープを貼る高さは、スキーは 2-4、スノーボードは 2-5 で求めた縦位置の数値（床からの高さ）に貼ります。床からメジャーで求めた縦位置の数値をマスキングテープの上に2点マーキングし、横のラインを引きます。

### 3-2. スキー取付位置のマーキング（スノーボードは 3-3 へ）

次に実際に The Wall Mount Ski のレールをマウントする穴の位置をマーキングします。



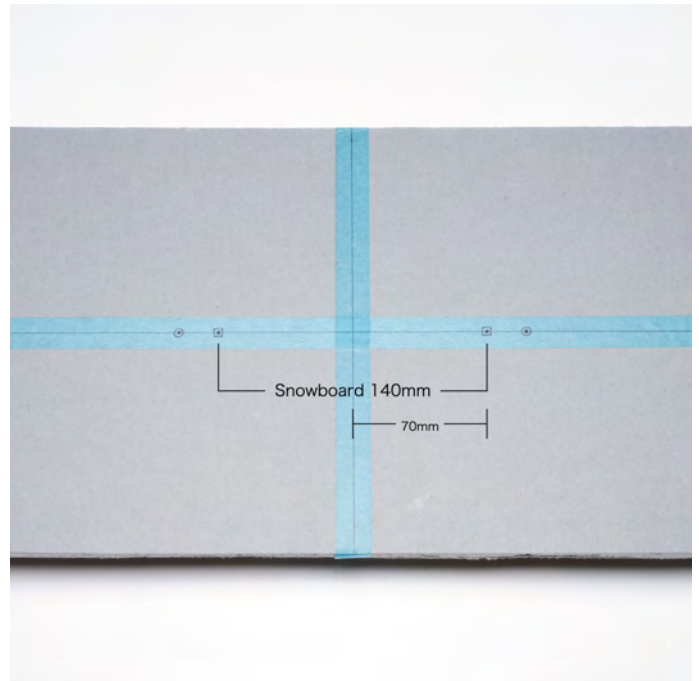
スキーを取付ける場合、The Wall Mount Ski のレールの穴位置は 180mm の幅で取付けることを推奨しています。縦と横のラインが交差する中心から左右 90mm の箇所の横のライン上にマーキングします。

これによって、85mm - 135mm のセンター幅のスキーをバランス良くマウントすることができます。

連続して多くのスキー板をマウントしたり、細目のスキー板や太いスキーのバランスの良いマウントを更に追求するには、2-4 の工程で2本のスキー板を並べて置いて、2つの The Wall Mount Ski のレールの中心の穴の距離を測って取付位置をアレンジすると良いでしょう。その際、左右のスキーのブレーキやノーズ付近の最も太い箇所が干渉しないか、良く確認します。

### 3-3. スノーボード取付位置のマーキング（スキーは 3-5 へ）

The Wall Mount Snowboard のレールをマウントする穴の位置をマーキングします。



スノーボードを取付ける場合、The Wall Mount Snowboard のレールの穴位置は 140mm の幅で取付けることを推奨しています。縦と横のラインが交差する中心から左右 70mm の箇所の横のライン上にマーキングします。

これによって、225mm - 275mm のウエスト幅のスノーボードをマウントすることができます。

225mm 以下のウエスト幅のスノーボードをマウントする場合は、縦のセンターラインからの距離を短くします。275mm 以上のウエスト幅のスノーボードをマウントする場合は、縦のセンターラインからの距離を長くします。

ウエストのカーブが浅いスノーボードは固定されるまで位置が下がりがちです。その場合は後述の The Wall Mount Snowboard の左右のタブを微調整して位置を追い込みます。

### 3-4. ポンチで「くぼみ」をつける



石膏ボードや木の場合はポンチでなくとも、付属のピアスビスやドライバーの先端等で表面を凹ませることができます。次の工程のドリルの穴開けを確実に行為の必須作業です。

### 4. ドリルによる穴開けとアンカー（下穴）の取付け （木壁は 7、その他の素材の壁は 8 を確認してから読み進めてください）

#### 4-1. 石膏ボードへ 取付ける場合の必要工具とファスナー （木壁は 7、その他の素材の壁は 8 を確認してください）

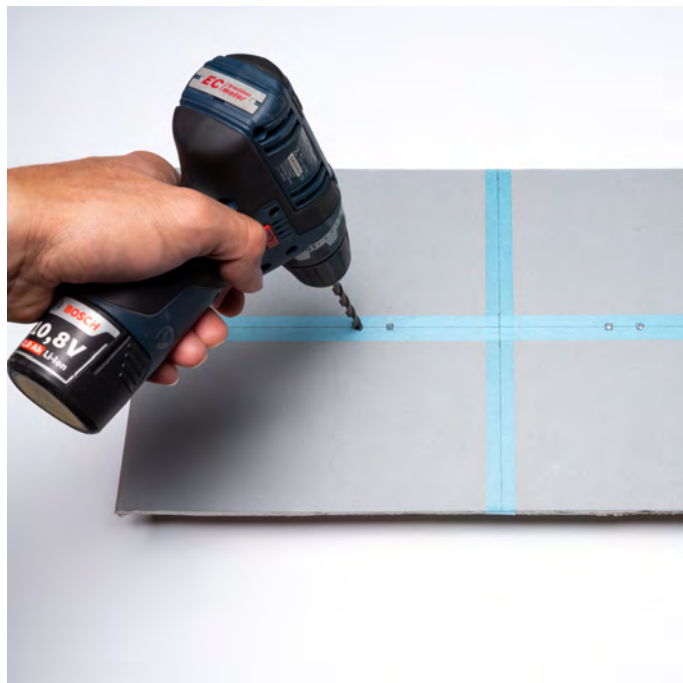


- ・ 付属のピアス（ドリル）ビス 2本 \*現在は黒いビスが付属
- ・ 付属のボードアンカー（fischer Duo Power プラグ）2個
- ・  $\phi 6\text{mm}$  の鉄工ドリル
- ・ 電動ドライバードリル



石膏ボードの場合に限り、ペン型電動ドライバードリルでも穴を開けることができます。

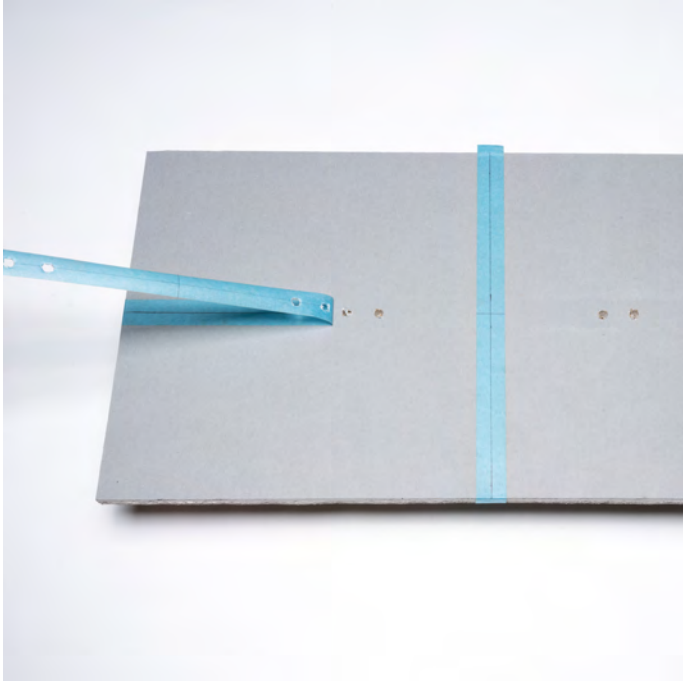
#### 4-2. 石膏ボードへの穴開け（木壁以外の全て）



$\phi 6\text{mm}$  の鉄工ドリルで石膏ボード壁面に対して垂直に穴を開けます。

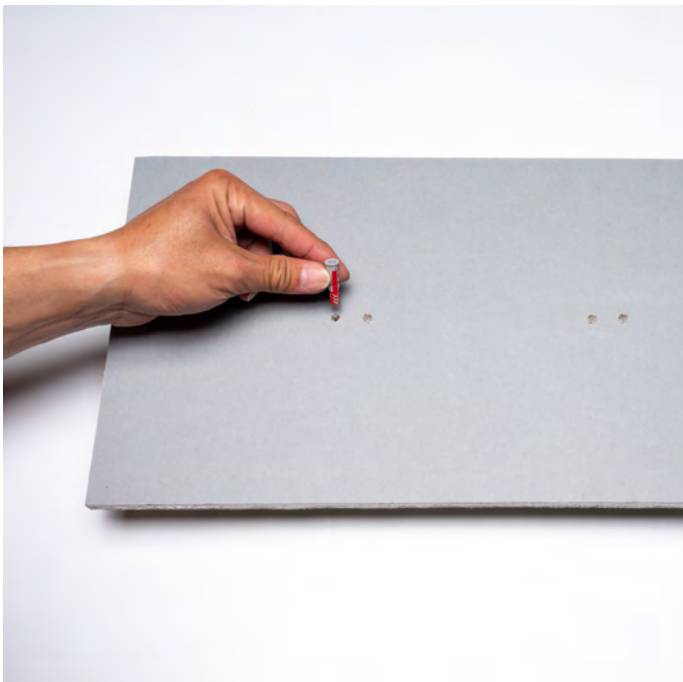
このとき、力をかけ過ぎずに、ドリルを左右に煽ったりすることなく、できる限り垂直を意識して2箇所の穴開け作業を行なってください。壁の後ろの電気配線の有無を確認し、慎重に穴開けを行なってください。

#### 4-3. マスキングテープを剥がす

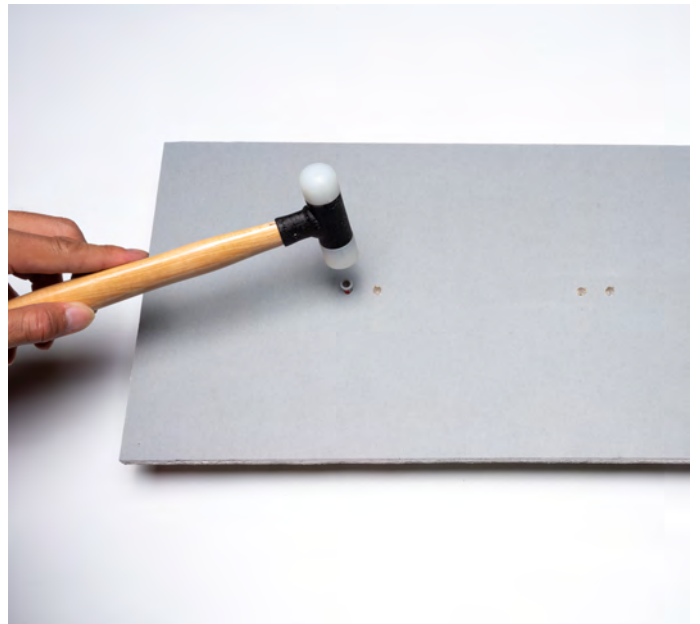


クロス（壁紙）や石膏ボード素地がマスキングテープに引っ張られて剥がれ無いように、ゆっくり慎重にマスキングテープを剥がします。

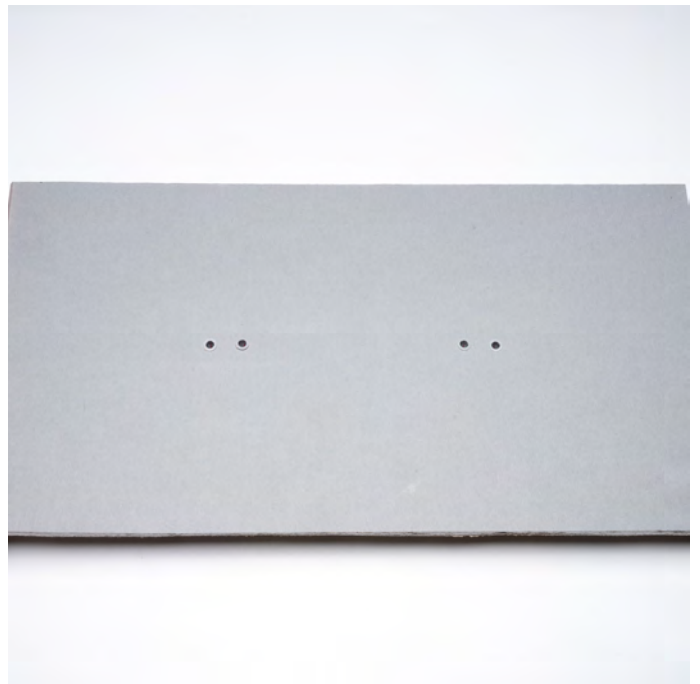
#### 4-4. fischer Duo Power プラグの挿入



開けた穴に垂直に付属の fischer Duo Power プラグを挿入します。



fischer Duo Power プラグをナイロンハンマー、ハンマーが無い場合はドライバーのグリップエンドで慎重に叩き込みます。



プラグのフランジ（ツバ）だけが露出した状態まで叩き込んでください。

fischer Duo Power プラグの詳細・スペックはこちらの QR コードか、alpinelogic.jp の Hover. The Wall Mount の各ページの下部メニュー「fischer Duo Power プラグの詳細・スペック」をご参照ください。

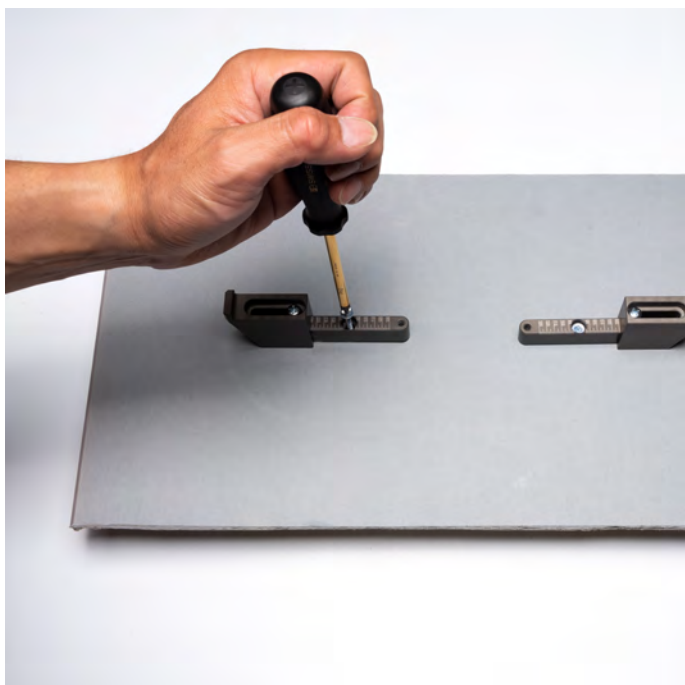


### 5-1. The Wall Mount Ski の取付け (スノーボードは 5-2 へ)



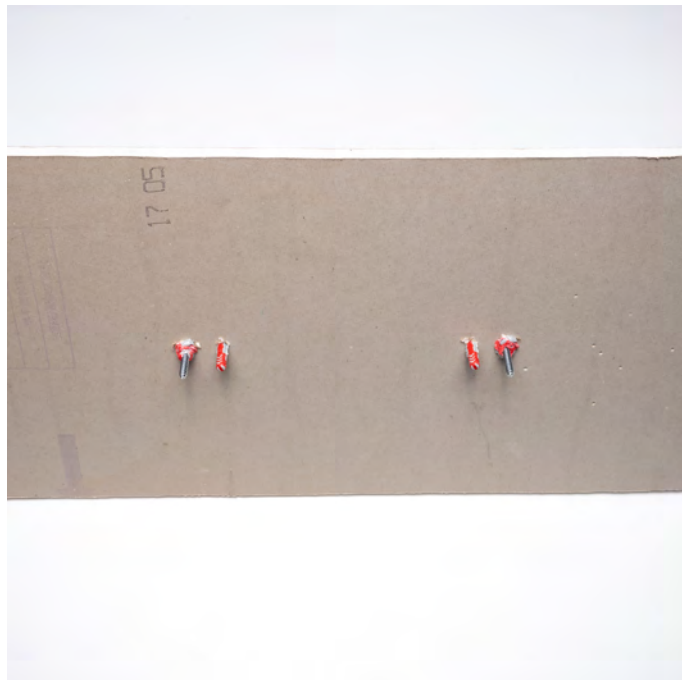
The Wall Mount Ski を付属のピասビスで取り付けます。電動ドライバーは使わずに、ドライバーで締め込んでください。このとき、The Wall Mount Ski が若干左右に動くぐらい緩い方が後の調整ができて好ましいです。

### 5-2. The Wall Mount Snowboard の取付け (スキーは 5-3 へ)



The Wall Mount Snowboard を付属のピասビスで取り付けます。電動ドライバーは使わずに、ドライバーで締め込んでください。このとき、The Wall Mount Snowboard が若干左右に動くぐらい緩い方が後の調整ができて好ましいです。

### 5-3. 石膏ボードの裏側から見た、fisher Duo Power プラグ



内側のプラグはプラグを挿入しただけの状態、外側のプラグはピասビスで取付けた状態となります。

### 6-1. The Wall Mount Ski の完成 (スノーボードは 6-2 へ)



最小センター幅 85mm の取付け例  
(左右のタブが完全に閉じている状態)



最大センター幅 135mm の取付け例  
(左右のタブが完全に開いている状態)

センター幅が違うスキー板をかける場合は、任意の幅に左右のタブを調整しスキー板を掛け、両方のスキー板が真っ直ぐに並んでいるか微調整を行います。

### 6-2. The Wall Mount Snowboard の完成



最小ウエスト幅225mm の取付け例  
(左右のタブがレールの中心側にある状態)



最大ウエスト幅 275mm の取付け例  
(左右のタブがレールの外側にある状態)

ウエスト幅が違うスノーボードをかける場合は、任意の幅に左右のタブを調整しスノーボードを掛け、スノーボードが真っ直ぐに掛かっているか微調整を行います。

## 7. The Wall Mount Ski/Snowboard を木製の壁へ取付ける場合

木製の壁へ取付ける場合は fischer Duo Power プラグは使用しません。基本的なステップは石膏ボードの壁へ取付ける場合から fischer Duo Power プラグの項目を読み飛ばし、できることであれば、 $\phi 3\text{mm}$  の木工用ドリルで下穴を開けてから付属のピアスピスで固定してください。

## 8. The Wall Mount Ski/Snowboard をコンクリート（ブロック） / タイルの壁へ取付ける場合

コンクリート（ブロック） / タイルの壁へ取付ける場合は必ず fischer Duo Power プラグを使用して取り付けてください。それぞれ適した用途の  $\phi 6\text{mm}$  のドリルで穴を開けてください。

コンクリート（ブロック）： $\phi 6\text{mm}$  コンクリートドリル

タイル： $\phi 6\text{mm}$  磁器タイルドリル

## 9. その他

いずれにしましても、施工に不安のある方は、DIY が得意な友人に手助けしてもらったり、金物取付け作業を請け負っている近郊の業者へご依頼ください。

Alpine Logic では Hover. The Wall Mount Ski/Snowboard の取付に関しまして、いかなる責任も負わないことをご了承ください。

## 10. Hover. The Wall Mount Ski/ Snowboard の楽しみ方

取付作業、大変お疲れさまでした。

完成後は板を眺めながら、昨シーズンのハイライトを振り返ったり、来たるシーズンに向けて計画を練ったり、まだ経験したことがないラインに想いを馳せたり…

たまにはマウントから下ろして、ビンディングのネジが適正に閉められているか、滑走面やエッジのコンディションをチェックしたりして楽しめます。

Alpine Logic では、あなたの板の Hover. The Wall Mount Ski/Snowboard によるマウントの Instagram の投稿を心待ちにしています。

メンション：[@alpinelogic.jp](#) [@hoverequipment](#)

タグ：[#alpinelogic](#) [#hovethewallmount](#) [#myhover](#)

を付け加えて、今後不定期に開催される My Hover. コンテストに是非ご参加ください。